

地域の治安に関する現況調査結果

調査時期：平成28年8月

調査対象：南区自治協議会委員

回答数：30委員中、19委員回答（コミ協選出委員は全員回答）

Q1. 支部管内における犯罪の増減状況

- 1 近年、支部管内での犯罪が増加・・・・・・・・・・3（茨曾根、大郷、大通）
- 2 近年、支部管内での犯罪が減少・・・・・・・・・・2（庄瀬、白根）
- 3 近年、支部管内での犯罪が横ばい・・・・・・・・・・5（小林、臼井、鷺巻、根岸、味方）
（近年、支部管内での犯罪はない、あまりない）・・2（新飯田、月潟）

Q2. 近年、増えている犯罪の種類（複数回答可）

- 1 凶悪犯罪（強盗、放火など）・・・・・・・・・・1（大郷）
- 2 粗暴犯罪（暴行・傷害、脅迫・恐喝など）・・・・・・・・・・0
- 3 窃盗犯罪（空き巣、車上狙い、事務所あらしなど）・・2（茨曾根、鷺巻）
- 4 知能犯罪（詐欺など）・・・・・・・・・・0
- 5 その他（痴漢、わいせつ、車両火災）・・・・・・・・・・1（大通）

Q3. 上記（Q2）を踏まえて講じた対策（複数回答可）

- 1 防犯パトロールや防犯の啓発活動・・・・・・・・・・3（茨曾根、鷺巻、大通）
（街頭演説やのぼりの設置、チラシの作成や回覧）
- 2 南警察署への相談・・・・・・・・・・1（大通）
- 3 その他（青色回転灯パトロール車による常時警戒と・・1（大通）
ながらパトロールの実施など）

Q4. 警察に対する意見・要望等

- 1 ある・・4（庄瀬、小林、大郷、白根）
- 2 なし・・8（新飯田、茨曾根、臼井、鷺巻、根岸、大通、味方、月潟）

■ 地域（防犯協会）の警察への意見・要望等

- 犯罪は未然に防止する方策が一番だと思う。それには、大変ご苦労様ですが、パトカー、白バイ、バイク等による細やかなパトロールではないだろうかと思う。これにより、住民の安心感が増して意識も高まると思う。（庄瀬）
- パトロールを強化してほしい。（小林）
- 警らの回数を増やし、赤色灯を抑止力に使うなど、未然に犯罪者に対応してほしい。（大郷）
- （防犯協会の）白根支部では、南警察署、地域のコミ協及び自治会等々と連携・協力し防犯活動をしている。犯罪件数は減少傾向にあるが、一方では、特殊詐欺等が増えていることに今後の活動内容に考慮が必要である。（白根）
- 特にないが、南警察署は、1日数回パトカーによる警戒をし、大通駐在所は常時警戒を実施している。消防署も同様に警戒を行っている。警察も言える範囲の情報を提供して、熱心に務めていると思う。（大通）

■ 自治協委員の警察への意見・要望等（コミ協選出委員）

- 犯罪防止運動を行う時は、南区統一した運動ができるように南警察署が主体となって行うとより効果的だと思う。

重点地区においては、重点地区の支部と協力し合っで行うことが良いと思う。（庄瀬）
- 地震情報が携帯に入るように、不審者情報も南区と連絡を取り、早く情報公開できるようなシステムを作る。パトカーの台数を増やし、パトロールを強化してほしい。

（新飯田）
- 地域の安全・安心のために連携していきたい。（小林）
- 不審者の情報が増えているので、パトロールの強化を願う。できるだけ情報開示をすることで、住民の認識が深まるのでは。（味方）
- 大通地区での車の放火事件が解決していない。今後、再犯しない対策はやっているのか。以前、大郷、臼井地区で空き巣が多かった。対策や解決したような説明が無かった。農産物の強盗事件が毎年発生している。対策はどうしているのか。（大郷）
- 犯罪のその後の捜査状況が伝わってこないのは不安ではあるが、致しかたないこともある。地域の派出所と、コミ協や自治会長が顔の見える関係ができているので、必要なことは話し合える。

大通では、地域の安全のため、事件があったときには、派出所からコミ協を通して、学校、保育園、児童館、自治会への緊急連絡をメールやFAXで送信している。

警察の役割と、地域でできる犯罪抑止や情報共有、防犯対策などが、それぞれできる範囲で取り組んでいくことが必要。（大通）
- 犯罪のない社会環境維持（地域の治安）は、専門分野である警察・行政等が高度の組織力・知恵を駆使し、市民の安全が構築されていると考える。加えて、地域の防犯組織、町内会（自治会）市民が共に連携し、行動があるから地域の安全維持があると考えます。

今後は、高齢者社会を抱え、防犯の取り組みは更に深刻化することを考えると、さらにそれぞれが信頼のもと、地域の助け合い意識強化が求められる。（自らの安全は自ら守り、地域の安全は地域自らが守ることが不可欠である。）（白根）
- 警察協議会委員の経験があるため、警察業務、取り組みに対しては理解している。市民の警察に対する期待が大きいことを理解してほしい。（根岸）
- 自治会の道路で昼間のスピード違反（40キロ制限）の取り締まりをやめていただいて、朝の通勤者の車がすごいスピードで走っているので、そちらを指導してもらいたい。（茨曾根）
- 防犯協会はあるが、大通地区で行っているような見回りはやっていない。育成協と一緒に夏休み、まつりの時に巡回している。（月瀾）

■ 所属団体での状況や生活の中での状況（コミ協選出委員以外の委員）

- 白根商工会では、地域貢献の一環として安心・安全なまちづくりを目指して青年部「見守り隊」を結成し、防犯活動を行っている。具体的には、青年部員の業務車両に「子供見守り隊ステッカー」を貼り、夕方の下校時に合わせてパトロールを実施するもの。

安心して暮らせる社会は、多くの地域住民の願いであり、生活の基盤である。しかし、最近、地域内のつながりが希薄となっており、防犯面でも憂慮されるところである。地域内のコミュニケーションを高め、つながりを強めることによって、地域全体で防犯についての行動を起こすことが必要ではないか。（南区観光協会）

- 現在も、庄瀬小学校では自転車通勤を実施しており、授業や行事によっては長い距離を一人で帰るときがある（徒歩通学も同様だが）。

逃げ場のない住宅地以外も道も通学路にはあるので心配である。

（地域教育コーディネーター）

- 南区老人クラブの推薦委員であるが、老人クラブに加入できる年齢は60歳以上で、現在約1,500人、平均78歳位の方々が南区老連の会員となっている。これらの方々は、自分で仕事（農業、商業）に従事され、良し悪しの判断ができる人達と信じている。

今までに、私どもの団体は、コミ協・自治会長の皆さんと違って、会員の皆さんや地域にお住いの皆さまから、窃盗・知能犯罪の相談は一切受けていない。

私どものクラブは、年間活動の中に、2回程度、窃盗（空き巣）、知能（詐欺）犯罪防止のための研修を南警察署の指導のもと活動を行っている。

60歳以上で老人クラブに加入されていない人達が今、報道されているような事件（交通事故も含む）に巻き込まれているので、同じ仲間として、今後、どうすべきかを老連の中で話し合いたい。（南区老人クラブ連合会）

- 現在、南区において、白根小学校、味方中学校近辺に不審者情報が寄せられているとのこと。子供達の帰宅時などは、特に、風合戦期間中の街中の防犯パトロールのような活動をもっと日常的に取り入れるべきではないかと思う。バイパスの側道（カルチャーセンターテニスコートから風資料館まで）は、街灯も少なく、車の通りが多いので、人が歩いているだけで物騒に感じる。（小林公募委員）

- 大通民生委員児童委員の会での意見

大通地区では、車両火災や痴漢行為を含む不審者出現が多発していることから、次のような対策が有効と考える。

- ① 防犯カメラの設置及び防犯カメラ設置費用の補助

地域で防犯上必要と思われる通学路やバス停付近、公園等にカメラ設置を望む。また、自治会等で設置する場合、防犯灯同様の新潟市の補助制度の導入を望む。

- ② 防犯パトロールの強化

警察や消防によるパトロール回数が以前より多くなっていることに心強く感じている。今後もパトロール強化の継続をお願いしたい。地域での防犯パトロールももちろん重要で、強化してもらいたい。

- ③ 防犯灯の増設

防犯灯の増設を要望するとともに、大通黄金地区では、歩道上の防犯灯が歩道ではなく車道に向けて設置されているので、向きの変更をお願いしたい。人が歩くのを照らすための防犯灯であるのに、歩道が暗くなっている。

④ あいさつ運動

新興住宅地である大通地区は、アパートも多いこともあり、全体的には人間関係が希薄な地域である。地域全体で「あいさつ」を交わすことや声掛けをすることが、防犯対策になることを周知して、防犯意識の高い地域となる必要がある。

(民生委員児童委員)

- 若いお母さん方に伺ったところ、児童公園、特に、区役所隣の公園に不審者が出没するとのうわさがあり、子供達が自由に遊べないとのこと。パトロールの強化をお願いしたいとのこと。国道8号線では、よくパトロールを見かけるが、たまには、村道などの巡回をお願いしたいと思う。(高橋公募委員)